



Second Circular
Call for Papers

国際犯罪学会 第16回世界大会

2011年8月5日(金)～9日(火) 神戸国際会議場

グローバルな社会・経済的危機と犯罪統制政策—地域・国家間の比較

主催：日本犯罪関連学会連合会

日本犯罪関連学会連合会は2011年8月5日～9日、神戸国際会議場において、国際犯罪学会の第16回世界大会を開催いたします。犯罪学分野で最も歴史のある国際会議を日本で開催し、ご案内できますことを大変光栄に存じます。皆様のご参加をお待ちしています。

日本犯罪関連学会連合会 会長・組織委員長 渥美 東洋
実行委員長 宮澤 節生
事務局長 谷岡 一郎

◆◆後援団体

内閣府、法務省、文部科学省、厚生労働省、警察庁、最高裁判所、日本学術会議、国際交流基金、日本弁護士連合会、近畿弁護士会連合会、大阪弁護士会、兵庫県弁護士会、兵庫県、神戸市、読売新聞大阪本社、神戸新聞社

◆◆協賛団体

大阪商業大学(主要協賛団体)、セコム株式会社、ALSOK(総合警備保障株式会社)、鹿島建設株式会社、(株)警備保障新聞社、(社)日本防犯設備協会、(株)セキュリティ産業新聞社、(社)日本損害保険協会

◆◆プログラム

日程	午前	午後	
8月5日 金		登録 学会企画部会	ウェルカム・レセプション 於：神戸花鳥園(予定)
8月6日 土	開会式 全体会	各種セッション(テーマ・セッション、個人報告、ラウンド・テーブル) 公開シンポジウム・学会企画部会 関連団体の企画シンポジウム	
8月7日 日	全体会	同上	
8月8日 月	全体会	同上	
8月9日 火	全体会	同上	ISC理事会 総会・閉会式 フェアウェル・レセプション 於：神戸ポートピアホテル(予定)

終日：登録・ポスターセッション、展示(企業・出版物)、学術ツアー/観光ツアー

受付中：参加登録 宿泊・ツアー予約

演題投稿〆切：2011年1月31日

◆◆お問合せ:

世界大会オフィシャルエージェント JTB 西日本(担当：崎元)
Tel: 06-6252-2861 Fax: 06-6252-2862 E-mail: ISC2011@west.jtb.jp

共通 同時通訳あり（全体会・式典：日英仏西、その他：日英）

公開 公開シンポジウム

◆◆全体会

共通

大会テーマ：グローバルな社会・経済的危機と犯罪統制政策—地域・国家間の比較

1 グローバルな経済危機と犯罪学	John Braithwaite(オーストラリア国立大学)、Johanna Shapland(シェフィールド大学)、金大根(韓国刑事政策研究院)、石塚伸一(龍谷大学)
2 国家モデルと犯罪予防戦略	Frank Zimring(カリフォルニア大学バークレー校)、Jose Luis Diez-Ripolles(マラガ大学)、鄭瑞隆(国立中正大学)、葛野尋之(一橋大学)
3 企業犯罪・ビジネス犯罪	Peter Reuter(メリーランド大学)、Stephan Parmentier(ルーベンカトリック大学)、盧建平(北京師範大学)、堤和通(中央大学)
4 臨床犯罪学のフロンティア	Cândido da Agra(ポルト大学)、Luis Rodriguez Manzanera(メキシコ国立自治大学)、Avshalom Caspi(デューク大学)、影山任佐(東京工業大学)、藤岡淳子(大阪大学)

◆◆市民公開講座(連合会主催)

刑事裁判への市民参加-国際比較における裁判員制度-

共通

公開

後藤昭(一橋大学)、徳永恭子(神戸新聞)、Valerie Hans(コーネル大学)、Hans-Jürgen Kerner(テュービンゲン大学)、崔鍾植(大阪商業大学)

◆◆連合会の学会が企画する部会(仮題)

警察政策学会

少年非行防止・多機関連携と日本の秩序
犯罪抑止政策の総合的展開～日本の教訓

共通

共通

日本社会病理学会

日本における犯罪と社会の関係(第1部、第2部)
日本における犯罪と非行の説明の試み

日本司法福祉学会

日本における司法とソーシャルワーク-少年犯罪を中心に-

公開

日本被害者学会

被害者学と被害者支援の過去、現在、未来

共通

日本犯罪社会学会

グローバルな危機における経済犯罪
判決前調査制度の国際比較
現代日本の犯罪発生率の低さを理解する
アジアとアメリカにおける死刑の現状

公開

共通

公開

日本犯罪心理学会 -日本犯罪心理学会第49回大会-

非行の発達過程
知的障害のある非行少年・犯罪者の支援
性犯罪・性非行の処遇と査定
犯罪者プロファイリングの現状と課題
司法における犯罪者・被害者等に対する面接
修復的アプローチによる犯罪・非行への実践的対応

日本犯罪学会

犯罪精神医学の現状と課題 -リスクと治療について-
犯罪捜査および裁判の判決における法科学の役割

◆◆関連団体によるシンポジウム

日本更生保護協会・全国保護司連盟

社会内処遇を中心とした多機関連携によるアプローチ
保護司による刑事司法への市民参加に関する実践報告

共通

独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

科学的根拠に基づく子どもの被害防止：研究から実践へ

共通

公開

重要：参加登録、演題投稿、各種予約は、<http://wcon2011.com> から登録サイトにアクセスしてください。オンライン登録ができない場合は、Fax での申込も受け付けます。各種申込用紙は、オフィシャルエージェントの JTB 西日本（表紙参照）から入手して下さい。

◆◆ 演題募集

申込締切: 2011 年 1 月 31 日

◆ テーマ・セッション、ラウンドテーブル・セッション

提案者がセッションを編成し、申込して下さい。テーマセッションの場合は、演者全員の要旨を提案者がまとめて投稿して下さい。

◆ 個人報告によるセッション、ポスター・セッション

報告者個人が申込して下さい。

演題を申込むには、参加登録が必要です。オンラインで登録して下さい。セッション提案者は、投稿の時点ですべての演者と司会者が登録を完了していることを確認して下さい。

重要：投稿の〆切：2011 年 1 月 31 日

演題の受理には、2011 年 4 月 30 日までに参加費の支払いを完了することが必要です。セッション提案者は、すべての演者と司会者が、期日までに参加費の支払いを完了していることを確認して下さい。

大会テーマと関連がない内容のペーパーも歓迎します。要旨は英・仏・西語のいずれか(200 語まで)で投稿して下さい。大会当日の口頭報告では日本語も使用可能です。日・英・仏・西いずれか 1 言語のセッションもあります。基本的に通訳はありません。

◆◆ 参加費

参加費 支払日により変動	早期登録 ～2011/1/31	後期登録 ～2011/8/4	当日登録
一般	30,000 円	40,000 円	50,000 円
週末限定* ¹	18,000 円	24,000 円	30,000 円
学生* ²	10,000 円	15,000 円	20,000 円
同伴者* ³	10,000 円	15,000 円	20,000 円

*¹ 土・日のセッションのみ参加可能。レセプション参加不可。

*² オンライン登録時に学生の方が対象。

*³ 配偶者または家族の 1 名のみ。

法人登録： 参加人数により参加費が異なります。2 名：10 万円、5 名：20 万円。早期・後期・当日の区別はありません。オンラインでは登録できませんので、オフィシャルエージェントの JTB 西日本にお問合わせ下さい。

キャンセル： ホームページをご覧ください。

◆◆ フェロシップのご案内

国連の LDC (Least Developed Countries) リストの国からの参加者で、セッション報告の希望者には一定数のフェロシップを用意しています。お問い合わせ下さい。

◆◆ 国際犯罪学会 (ISC) と日本犯罪関連学会連合会 (連合会)

国際犯罪学会 (International Society for Criminology: ISC) は 1938 年に創設された非政府組織 (NGO) で、会員は 1,000 名を超える世界 82 ヶ国の研究者や裁判官・弁護士などの実務家により構成されています。世界大会は 3～5 年に 1 回開催され、2011 年の第 16 回世界大会は念願の日本開催となりました。日本側主催者である日本犯罪関連学会連合会は、国内の 7 つの関連学会により結成されました (以下 50 音順：警察政策学会、日本司法福祉学会、日本社会病理学会、日本犯罪学会、日本犯罪社会学会、日本犯罪心理学会、日本被害者学会)。大会では、これらの学会が企画する部会も開催されます。

◆◆ 宿泊

ポートアイランドや神戸の繁華街である三宮や元町のホテルが大会特別料金でご利用できます。
ポートアイランド内ホテルは会場から徒歩圏内にあります。三宮のホテルは三宮駅から徒歩圏内に位置し、会場から三宮駅まではポートライナーで10分です。 ◆学生用の安価な宿舎については、お問い合わせ下さい。

◆◆ 学術ツアー

予約は先着順

- 《播磨コース》8月5日（金） 播磨社会復帰促進センター、播磨学園、加古川学園
- 《奈良コース》8月5日（金） 奈良少年院、奈良少年刑務所
- 《大阪コース》8月8日（月） 大阪刑務所、大阪医療刑務所または大阪少年鑑別所
- 《神戸コース》8月9日（火） 神戸刑務所、神戸市立若葉学園

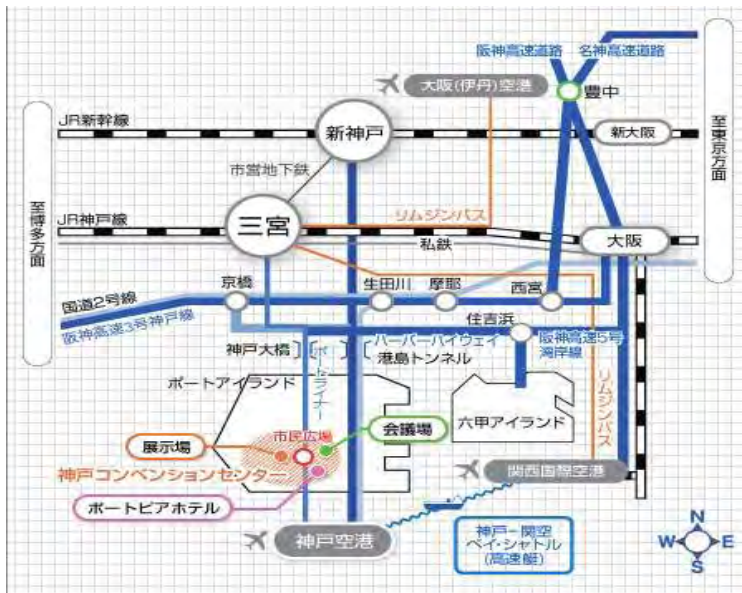
◆◆ 観光ツアー

集合・解散：神戸国際会議場

- 《大会中催行》 神戸市内ツアー（半日・1日）、大阪市内とユニバーサルスタジオツアー（1日）、京都ツアー（1日）、奈良ツアー（1日）、淡路島・鳴門ツアー（1日）
- 《大会前・後のツアー》 8月4～5日：広島・倉敷、8月10～12日：箱根・東京（東京解散も可能）

◆◆ 会場

メイン会場：神戸国際会議場 神戸（三宮）からポートライナー（10分）「市民広場」下車すぐ



大会会場
神戸国際会議場



ウェルカムレセプション会場
神戸花園



オフィシャルコンgresホテル
神戸ポートピアホテル

◆◆ 支援団体

大阪商業大学(主要支援団体)、甲南大学、神戸学院大学

◆◆ 協力団体

【国内】日本児童青年精神医学会、日本法医学会、日本法社会学会、包括システムによる日本ロールシャッハ学会、法と心理学会、法と精神医療学会 【海外】アジア警察研究学会、アジア犯罪学会、アメリカ司法福祉学会、アメリカ犯罪学会の国際部会、イギリス犯罪学会、オーストラリア・ニュージーランド犯罪学会、オニヤティー国際法社会学研究所、韓国矯正社会福祉学会、韓国刑事政策学会、韓国刑事政策研究院、韓国刑事法学会、韓国公安行政学会、韓国被害者学会、韓国保護観察学会、グローバル・ユース・ジャスティス、刑事司法科学アカデミー、国際警察幹部シンポジウム、国際フランス語圏犯罪学会、在米韓国人犯罪学会、台湾刑事法学会、台湾犯罪学会、中国犯罪学学会、ドイツ・オーストリア・スイス犯罪学会、ヌエヴォ・レオン州メキシコ犯罪学会、パキスタン犯罪学会、フィリピン犯罪学・刑事司法関係著者連合、法と社会学会、香港大学犯罪学センター、マカオ犯罪学会、南アジア犯罪学・被害者学会、メキシコ犯罪学会
※正式な協力団体ではありませんが、アメリカ犯罪学会、ヨーロッパ犯罪学会、日本刑法学会から広報等のご協力をいただいています。